

# 山菜採りで入山するときは事故や林野火災に注意しましょう

春になりこれから本格的な「山菜採り」シーズンを迎えます。

毎年山菜採りシーズンになると遭難事故が発生しており、昨年の大館消防署管内での山菜採りによる遭難は2件発生しております。

山菜採りに出かけたときは、収穫量よりも安全に家に帰ってくるの方が大切です。楽しい山菜採りにするためにも、次のことに注意しましょう。

## 山菜採りに出かけるときは…

- 1 行き先や帰宅時間を家族に伝えましょう。
- 2 服装は目立つ色にしましょう。
- 3 携帯電話（GPS付き）や非常食、熊よけの鈴やラジオを持ちましょう。
- 4 遭難したときの合図に使うマッチ、ライター、懐中電灯を持ちましょう。
- 5 2人以上で出かけましょう。また、山では声を掛け合い、お互いの位置を確認しながら山菜を採りましょう。

## もし、迷ってしまったときは…

- 1 体力の温存を第一に考え、むやみに歩き回らず（暗闇で移動するのは特に危険です）、雨風を防げる場所で助けを待ちましょう。
- 2 救助ヘリコプターの音が聞こえたら、見通しが良く上空から視認しやすい場所に移動し、目立つ色（原色）の衣類や白いタオルを振って居場所を知らせましょう。

## 林野火災に注意を…

毎年、4月から5月にかけて林野火災が多く発生しています。火災の原因の多くは、たき火、たばこ、火入れ、ごみ焼き等人為的な原因によるものがほとんどで、そこから林野へと燃え広がっていきます。たばこのポイ捨てやごみ焼き等は絶対に行わないようにし、たき火や火入れは、強風、乾燥、火災に関する注意報等が発令されているときには控えるようにしましょう。

また、やむをえずたき火や火入れを行う際は、絶対にその場を離れず、消火用水等を準備し、消火の確認及び後始末を完全に行ってください。

